

北ア 霞沢岳西尾根 2017年12月30、31日～2018年1月1日

CL 谷内、SL 宮坂、倉澤、久保、原、結城 (R&B)

越年山行を比較的マイナーでラッセルも楽しめるであろうと踏んで北アルプス霞沢岳西尾根に計画しました。「山レコ」なるものに“初心者向け”などとカン違いな記録が載せられたせいか予想外に多くの入山者を迎えており拍子抜けの感はありましたが天候もぎりぎりもってくれ楽しい3日間をすごすことができました。

12/30 快晴。但し山稜は強風だったよう。

AM6時茅野発-7:30 沢渡駐車し予約してあったアルピコタクシーにて釜トンネル入口へ。計画書を提出し入山状況を伺うと12/28に3P、12/29に6P入山と。指導員の方も「例年こんなことはないのに」と不思議がっておられた。ジャンボエスパースの設置場所が計画段階からの心配の一つであったが大丈夫かしらとの思いをいだきながら8:15出発。9時砂防事務所入り口着。笹がほぼ隠れる程度の積雪であるがトレースはバッチリ。ビーコンテスト後9:15取り付く。送電線下の急登をひと踏ん張りで尾根上に出ると岳沢越しに穂高の勇姿が飛び込んできてくれ感激。ひたすらの直登を頑張る途中で下山してくる伊那山仲間パーティーに合いテンバ状況等教えてもらう。12:15テンバを予定していたジャンクション地点(2050m)到着するも既に3張りスペース占拠されている。上部と反対側支尾根に偵察を出し最終的に支尾根側に少し下った所にテンバ設営としたが、ジャンボのスペース広いため雪の積み上げ等で2時間弱を要した。明日は南岸低気圧を伴った二つ玉が通過する予報で、午前の早いうちが勝負と早立ちを心掛け入山祝いの後早めに就寝。

12/31 うす曇り～雪

AM3時起床-4:50発。しっかりしたトレース跡をヘッドラの灯りのもと進む。ちょうど森林限界あたりで明るみ始め思いのほか視界が得られており勇気づけられる。風も弱く冷えこみもそれ程でなく助かる。核心部のナイフリッジはしっかりトレースついており難なく通過し、その後の岩峰部は岩露出しており固定ロープを張っての登行としたが皆足もとしっかりしており一安心。7:30標柱が顔を出している山頂着。うす曇りではあるが360度の展望が得られゆっくりと大休止。7:47下山。岩峰部は懸垂で下降。9:30テンバ帰着。今後天候崩れ、ある程度の降雪も予測されることもあり下部にテンバを移すこととす。撤収中から小雪舞い始め10:15下山。途中5Pぐらいとすれ違うが明日は荒れそうでかわいそう。11:30砂防事務所近くの平坦地に降り立ち二日目のテンバを設営

し登頂祝い、年越しを楽しむ。

1/1 くもり、下界は晴れ

AM4時起床-5:45発-6:20釜トン入口。7時、前日のうちに予約しておいたタクシーにて沢渡駐車場へ。時間も早いので茅野に戻り縄文の湯の初風呂で汗を流し山行終了とした。